

スローファッションの、縁の下で。



予期せぬコロナ禍に見舞われた 2020 年を経て
先の見えない中、幕を開けた 2021 年。

当たり前だった日常は過去のものとなり、
コロナ前とコロナ後、私たちの生活は大きく変わりました。

それはソーシャルディスタンスやリモートワークといった
目に見える生活様式の変化だけではなく、
心のありようや価値観など目に見えないものも同様です。

「ファストファッション」から「スローファッション」へ
という流れも、そうした変化のひとつといえるでしょう。

ファストファッションが人気を得たのは
「たくさん欲しい」「常に流行を取り入れたい」
だから服は安い方がいい、という価値観が主流だったから。

ところがコロナ禍で風向きが変わり、
「気に入った服が少しあればいい」「長く愛用したい」
と考える人が増加。

ひとや環境へのやさしさを考えて上質な品をじっくり選ぶ、
という価値観が支持されるようになってきたのです。

いわば身近な SDGs アクションであり、
エシカル消費の代表例といえそうな、スローファッション。

キュアテックスも、その一翼を担っています。

独自開発の和紙糸〈キュアテックスヤーン〉は、
環境負荷の少ない植物原料、化学的な加工に頼らない製法、
最後は土に還る生分解性など、
徹底してひとと自然に配慮した素材。

多くのスローファッションブランドから引き合いをいただき、
こだわりのものづくりに活かされています。

メイドインジャパンの工場直結ブランド「Factelier」さま。
スタイリスト岩崎聡美さんがディレクターを務める「LOHA DEUX」さま。
Circular Design を世界に向けて発信する「Syncs.Paper」さま。
……などなど、いずれもサステナビリティにこだわるブランドばかり。

日本発の誇らしいスローファッションを、縁の下で支えている。
キュアテックスにはそんな自負があります。

大量生産・大量消費の対極をなすスローファッションが、
愛着あるものを長く大切に作る習慣とともに
2021年、ますます広まっていくことを願っています。